

# 新庁舎整備

## 基本構想を策定しました

【政策企画課】

Q. なぜ新しくするの？

A. 現在の庁舎が抱えている次のような課題を解消するためです。

### 建物の老朽化と

### 機能の分散

本庁舎は昭和32年度の建築から60年以上が経過しています。教育文化会館などの周辺施設も築50年が経過しており、老朽化が懸念されています。

また、部署が複数の建物に分散しているため、来庁される皆さんの動線が複雑で分かりにくくなっています。

### スペースの狭隘化と

### 駐車場不足

プライベートに配慮した窓口や待合スペース、来庁者用の駐車場が足りず、来庁される皆さんにご不便をおかけしています。



※空間が狭く、ゆとりがないこと。

### 安全面・防災面の不安

耐震性能が足りておらず、基幹設備が地下にあることなどから、災害時の防災・指揮拠点としての機能に不安があります。

### 時代の変化への対応不足

バリアフリー（ユニバーサルデザイン）が整備されていない箇所があります。また、行政のデジタル化（DX化）に対応しにくい建物構造になっています。

Q. どのように進めるの？

A. 具体的なスケジュールは令和9年度に公表予定です。市の財政負担を減らすよう努めながら進めます。



▲現在の本庁舎

Q. どのように建設するの？

A. 現在と同じ場所に建設予定です。

現在の市役所本庁舎は建築から60年以上が経過し、老朽化をはじめとしたさまざまな問題を抱えています。市民の皆さんが安心して利用でき、これからの時代にあつた市役所をつくるため、アンケートや市民ワークショップをもとに今後の指針となる「新庁舎整備基本構想」を策定しました。

Q. どんな市役所になるの？

A. 「人にやさしい出会いとつながりの場」いつでも、いつでも、どこからでも」を基本理念とし、6つの基本方針を定めました。

### ユニバーサルデザイン

誰もが利用しやすく開かれた庁舎

- 動線
- 利便性

### スムーズな手続き・相談

市民サービスや働きやすさの向上につながる庁舎

- ICT活用
- DX推進
- 働き方改革

### 経済的で将来変化に対応できる庁舎

経済的で将来変化に対応できる庁舎

- フレキシビリティ
- ライフサイクルコスト

## 人にやさしい出会いとつながりの場

市民、職員、訪れる人みんなの居場所として、ふるさと橋本市の未来へのかけはしとなる新たな共創拠点



- 市民協働
- 市民交流

交流・協働によるまちづくりの拠点となる庁舎

- 共創
- サードプレイス

- 災害対策
- 業務継続

安全・安心を守り支える庁舎

- セキュリティ対策

- 省エネルギー

環境にやさしい庁舎

- 省資源
- 環境負荷軽減

## よりよい新庁舎の整備をめざして

基本構想の策定にあたって、市では外部の有識者や市民委員で構成される「橋本市新庁舎整備検討委員会」、職員により構成される「橋本市シビックゾーン整備庁内検討委員会」を設置し、協議を重ねました。また、市民・職員アンケートや各種団体へのヒアリングを実施するなど、市民の皆さんをはじめとする利用者の意見や要望を十分にふまえながら、専門的な検討を行いました。

今後はこの基本構想をもとに、より具体的な基本計画を策定します。引き続き広報でも進捗状況をお知らせしていきますので、ワークショップやアンケートを通じてぜひご意見をお寄せください。

なお、基本構想の詳しい内容や、策定までのワークショップ・パブリックコメントの結果などは市ホームページ（左のQRコード）で公開しています。

参加者大募集！

## 新庁舎整備基本計画 市民ワークショップ



市民の皆さんと一緒に新しい庁舎づくりを検討するワークショップを開催します。

●日時 6月27日(土) 午前10時～正午

●場所 保健福祉センター

●テーマ 新庁舎の機能を考えよう

●対象 市内に在住または通勤・通学している人

●定員 20人程度

●申込方法 申込みフォーム（左のQRコード）、市ホームページで入手できる参加申込書を左記窓口へ持参または郵送

●申込期限 6月17日(水)

●申込み・問合せ

〒648-8585（住所記載不要）橋本市総合政策部 政策企画課 ☎33-1576

